

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 1 月 5 日 (2017.1.5)

【公表番号】特表 2015-537250 (P2015-537250A)
 【公表日】平成 27 年 12 月 24 日 (2015.12.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-081
 【出願番号】特願 2015-544097 (P2015-544097)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 17 日 (2016.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

構造化表面を作製する方法であって、

第 1 電気めっきプロセスを使用して金属を電着させることによって、該金属からなる第 1 層を形成し、第 1 平均粗さを有する該第 1 層の第 1 主表面を生じさせることと、

第 2 電気めっきプロセスを使用して該第 1 主表面上に該金属を電着させることによって、該第 1 層の該第 1 主表面上に該金属からなる第 2 層を形成し、該第 1 平均粗さよりも小さい第 2 平均粗さを有する該第 2 層の第 2 主表面を生じさせることと、を含む、方法。

【請求項 2】

光学フィルムであって、

密集構造を含む構造化主表面であって、該構造化主表面は、基準面及び該基準面に垂直な厚さ方向を画定する、構造化主表面を含み、

該構造化主表面は、直交する第 1 及び第 2 面内方向のそれぞれに関連する第 1 及び第 2 フーリエ・パワー・スペクトルによって特徴づけ得るトポグラフィーを有し、

該第 1 フーリエ・パワー・スペクトルが、ゼロ周波数に相当せず、かつ第 1 基準線を画定する 2 つの隣接する谷によって境界づけられる 1 つ以上の第 1 周波数ピークを含む限りにおいて、任意のそのような第 1 周波数ピークは、0.8 未満の第 1 ピーク率を有し、該第 1 ピーク率は、該第 1 周波数ピークと該第 1 基準線との間の面積を、該第 1 周波数ピークの下方の面積で割った値に等しく、かつ

該第 2 フーリエ・パワー・スペクトルが、ゼロ周波数に相当せず、かつ第 2 基準線を画定する 2 つの隣接する谷によって境界づけられる 1 つ以上の第 2 周波数ピークを含む限りにおいて、任意のそのような第 2 周波数ピークは、0.8 未満の第 2 ピーク率を有し、該第 2 ピーク率は、該第 2 周波数ピークと該第 2 基準線との間の面積を、該第 2 周波数ピークの下方の面積で割った値に等しく、

該密集構造は、該基準面における等価円直径 (ECD)、及び該厚さ方向に沿う平均高さによって特徴づけられ、それぞれの構造のアスペクト比は、該構造の該平均高さを該構造の該 ECD で割った値に等しく、

該構造の平均アスペクト比は、0.15 未満である、光学フィルム。

【請求項 3】

光学フィルムであって、

大型の第 1 構造及び小型の第 2 構造を含む構造化主表面であって、該第 1 及び第 2 構造が、共に、2 つの直交する面内方向に沿うサイズにおいて制限される、構造化主表面を含み、

該第 1 構造は、該主表面上に不均一に配置されており、

該第 2 構造は、密集し、かつ該第 1 構造間に不均一に分散されており、

該第 1 構造の平均サイズは、15 マイクロメートル超であり、該第 2 構造の平均サイズは、15 マイクロメートル未満である、光学フィルム。